



発行／特定非営利活動法人朝倉川育水フォーラム

〒440-8508 豊橋市花田町石塚 42-1 豊橋商工会議所内

Tel 0532-53-7211 URL <http://www.asakuragawa.net>

Fax 0532-53-7210 E-mail hotaru@asakuragawa.net

本年もよろしくお祝い致します

2014年11月に名古屋でESDユネスコ世界会議が開催されます。ESD(Education for Sustainable Development)とは「持続可能な開発のための教育」、すなわち、個人個人のレベルで地球上の資源の有限性を認識するとともに、自らの考えを持って、新しい社会秩序を作り上げていく、地球的な視野を持つ市民を育成するための教育に関する様々な議論が行われることとなります。

愛知県は2005年の愛地球博に始まり、COP10(生物多様性条約10回締約国会議)の開催と環境については、積極的な取り組みをしています。

愛知県としての「あいち生物多様性戦略2020」として、生物多様性についての具体的な方向性を示しています。



朝倉川育水フォーラムとしても、昨年新しくなった、滝ノ谷池ビオトープをはじめとして、「持続可能な社会」の担い手になる人が一人でも多くなるよう、様々な事業を行っていきたいとおもいますので皆様方のご協力をお願いいたします。



第11回

植樹メンテナンス大会開催

平成25年11月16日(土)第11回の朝倉川植樹メンテナンス大会が開催されました。

当日は晴天の穏やか日より恵まれ、気持ちよく作業を進めることができました。23団体475名の参加がありました。今年度多米橋から松本橋の間は大規模な間伐が実施されるということで、メンテナンス不要ということで、上流側松本橋から寺門橋間での作業になりました。また、併催イベントの「川と海のクリーン大作戦」でゴミ拾いを実施しました。

見た目には刈り込む枝は少ないように見えたが、実際に作業をしてみると枝葉の量は8.3tにもなりまた。ゴミの量は0.2tでした。

また、桜丘高校の生物部のみなさんは、間伐が完了した区間の一部の木に名札付け作業を行いました。次年度松本橋から寺門橋区間も間伐が行われる予定です。





ようこそ「まちなかビオトープ」へ

皆さんは「まちなかビオトープ」という言葉をご存じでしょうか？

ビオトープは、「多様な生物が生息する場所を再現する」という意味で使われたりしますが、自然の失われた街中に設置することに大きな効果があります。なぜなら、子供たちをはじめとする人々に、自然の大切さを身近に感じてもらうショールームの役割を安全に果たすことができるからです。



そして、この井原第二公園は、市電の赤岩口から徒歩3分の住宅街の中にある、まさに「まちなかビオトープ」なのです。



豊橋市より公園内の生物や植物の育成管理を任されている朝倉川育水フォーラムは、これからさらに多様な自然が回復されるように工夫を加え、ホタルをはじめ様々な生物、植物たちのサンクチュアリを、街中に再現する予定です。

このような小さなビオトープが街のあちらこちらに作られ、生物たちが行き来するようになれば、きっと楽しいでしょうね。御存じなかった皆様は、買い物ついでにでも、ぜひ一度足を運んでいただければいかがでしょうか。きっと昔の風景が思い出されますよ。(担当理事 三浦裕司)

このように小さなビオトープが街のあちらこちらに作られ、生物たちが行き来するようになれば、きっと楽しいでしょうね。御存じなかった皆様は、買い物ついでにでも、ぜひ一度足を運んでいただければいかがでしょうか。きっと昔の風景が思い出されますよ。(担当理事 三浦裕司)



延 50 日の河川調査から



12月1日(日)朝倉川の河川調査を実施しました。

気温10℃、水温9℃の比較的暖かい日で、胴長で汗ばむほどでした。十数年間の調査ではじめての出会いがありました。タイリクバラタナゴ(要注意外来種)やカダヤシ(特定外来種)が採取されました。どちらも全国的に棲息範囲をひろげていますが、ブラックバスなどと同様の外来種です。注意深く観察を続けていきたいと思ひます。



<手前がタイリクバラタナゴ>



それ以外に魚類ではオイカワ、カマツカ、ドジョウそして河川調査では顔なじみになった「ウナギ」君も無事な姿をみせてくれました。

春、夏、秋、冬、年に4回、延50日の調査では水温や流れによって、生き物たちは微妙に棲家を変えています。朝倉川に生き物たちが戻りつつあるのでは…と期待しています。



<大分成長したうなぎ君>



<カマツカ>

※外来種については独) 国立環境研究所のHPをご参照ください。

←カダヤシ

水辺の回廊事業のこれから

理事長 高橋豊彦

朝倉川の上流部で「水辺の緑の回廊」事業として、今年で16年が経ちました。5回の朝倉川植樹大会、11回の朝倉川植樹メンテナンス大会と16回にのぼる事業に数多くの方たちに関わっていただきながら、今日に至りました。

これまでに、桜並木など既存樹などとの問題を始め、防犯、減災などの様々な問題点に対して、実行委員会を中心に議論をして参りました。

こういった流れの中、朝倉川の河川管理者である愛知県の方で25年度26年度の予算で、問題解決のために強度の間伐を含めた河川法面の整備を行って頂けることになりました。

これは、「朝倉川水辺の緑の回廊」事業としては、大きな転換点と言えると思います。メンテナンス大会を始め、より良い環境整備のために

今まで関わってきた人、そしてこれから関わっていく人も含め、地域にとってより良
いかたちづくりを皆さんと行っていきたく
たいと思います。会員の皆様をはじめ多くの皆様方のより一層のご協力

をお願いいたします。



<第1回植樹大会>



<第1回メンテナンス大会>

朝倉川沿いの現在→



←川面がスッキリ見える

NPOねこのて さんの ビオトープあそび

2013年10月27日に、多米の里山にて親子参加の事業を開催させていただきました。前日までの台風も気にしながら、当日は良いお天気に恵まれました。

参加者（事業への応募者）は、大人17人、こどもが22人。NPOねこのてのスタッフは、大人10人、こどもを連れた人もいたのでスタッフの子供が7人でした。フィールド散策の中で育水フォーラムのスタッフの方には朝倉川についても詳しくご案内いただき、参加者も熱心に聞き入っていました。



石窯を使ってピザも焼いていただきましたが、こちらも屋外での楽しい体験となりました。

実は、NPOねこのてとしてこういった屋外での事業の開催、また他のNPO法人様とのご協力のもと開催する事業も初めてのことで、天候やケガなどのトラブルについても気にかけていましたが、朝倉川育水フォーラムの皆様のご協力のもと、無事に開催することができました。ありがとうございました。



自然に触れる機会が少なくなっている今日この頃ですが、滝や沢に入り、また虫を捕まえる子ども達の笑顔は、他ではなかなか見られないものです。この事業をとおして、親子ともより自然を身近に感じ、大事にする気持ちももっていただくきっかけになったのではないかと
思っております。



東ライオンスクラブ様

いつもありがとうございます

12月7日(土)ピオトープは弓張の美しい紅葉の山並に囲まれていました。

今年ライオンズのみなさまには、重点的に柿畑の整備作業をしていただきました。毎年毎年はびこる草と伸び放題のクズやつる草に頭を悩ませていました。

11月16日にワルツさんのみなさまに作業していただき、かなりきれいになりましたので、最終的な作業になります。



また、シュレッダーという、木の枝をチップ化する機械を初めて使いました。大量に積んであった枯れ枝も柿畑の作業で出た草もまたたく間にチップになりました。

青年会議所のみなさんのも多数参加していただいて、予定通りの作業をこなすことが出来ました。

長い間お借りしていた柿畑ですが、12月11日、お返しいたしました地主様、長期間ありがとうございました。



*** これからの予定 ***

1月 日(日) 河川調査

1月11日(土) ピオトープ作業

以降:2月1日

3月1日



林正司さんに随時ピオトープの清掃や整備をしていただいています。いつもありがとうございます。



事務局より...

SNS、facebookのページ

ぜひご覧ください

会費納入のお願い



会費未納の会員様に25年度の会費納入の振込み用紙を同封させていただきました。ご納入をお願い致します。直接事務局までお持ちいただいても結構です。

朝倉川をアートする

泥んこ大好き!!冒険探検大好き!!

もりっこ塾の子どもたち。春から秋、ピオトープや朝倉川でいっぱい遊びました。



田植えや川あそび、稲刈り、虫探しなどなど...1日中自然を楽しみました。

最後の日に森や川をイメージして、全員で大きな額にアートしました。



<朝倉川探検>



<田植え、お昼、稲刈>



←完成した作品

(ピオトープに展示してあります。見に来てください)

※ピオトープご利用

希望の方は事務局までご連絡ください。

*** できごとアシコレ ***



4/13 530大会



6/1 総会



7/21 朝倉川探検隊

今年はおまわりさんも参加、第2部はピオトープで



11/9 収穫祭 11/16 メンテナンス大会 4/18~桜中学習

* 全てのお申込み・お問い合わせは *

特定非営利活動法人朝倉川育水フォーラム

〒440-8508 豊橋市花田町石塚 42-1

TEL 0532-53-7211

FAX 0532-53-7210

URL <http://www.asakuragawa.net>

E-mail hotaru@asakuragawa.net